

## ■「効果の見える治水事業」

### Mission「0」プロジェクト

～啓発冊子・危険箇所マップの全戸配布など～

高知県土木部防災砂防課長 みつなが 光永 たけお 健男



高知県では「いかなる土砂災害が発生しても犠牲者を出さない」を基本理念とし、ハード対策とソフト対策が一体となった土砂災害対策、「Mission「0」プロジェクト」に取り組んでいます。

平成 26 年 8 月には広島で豪雨災害が発生しましたが、高知内でも地すべり等、多数の土砂災害が発生し、土砂災害警戒区域指定の「さらなる加速化」、土砂災害危険箇所の「さらなる周知」、避難行動に結びつく訓練の「さらなる充実」に取り組みました。

平成 27 年 4 月からは、土砂災害に関する「啓発冊子」と「危険箇所マップ」を県内全戸配布しました。県が実施した県民世論調査では「自分の住んでいる地域の土砂災害の危険な場所を知っている」という方が約 2/3、そのうち約 3/5 の方から「県が配布したマップを見た」との回答を得ることができ、一定の効果があつたものと考えています。



《啓発冊子》



《危険箇所マップ》



《防災学習会：香美市香北町》

また、自主防災組織や学校に対する防災学習にも取り組んでいます。啓発冊子をベースとし、動画も含んだ学習会用 PPT を作成するとともに、多数の依頼に対応するため、県職員はもとより、県職員 0B が構成員となっている高知県砂防ボランティア協会とも連携して講師を務めています。市町村とも連携し、平成 27 年度は 145 回もの学習会を実施することができました。副次的な効果として、砂防ボランティア協会の会員が講師となることで、県の若手技術職員は自分たちの先輩の経験談や教訓を聞くことができ、技術の継承にもつながっています。

学習会を重ねる中、住民の皆様から「土砂災害の危険な場所に避難所があるがどうしたらいいか」、「避難勧告や避難指示が市町村単位で出るのをどうにかしてほしい」といったご意見をうかがい、今後の課題も浮き彫りになってきています。

平成 28 年 4 月からは土砂災害警戒情報の補足情報としての地区別の土砂災害危険度情報をホームページ上で提供する取り組みも始めました。今後も、少しずつではありますが、地域の抱える課題にも着実に対応していきたいと考えています。

## 香美市の土砂災害に関する取り組み

香美市長 ほうこういん 法光院 しょういち 晶一



香美市は、高知県北東部の山間に位置し、人口 27,541 人（平成 27 年国勢調査速報値）が暮らす「自然文化共生都市」です。

本市は、総面積 537.86km<sup>2</sup>のうち森林面積が約 9 割を占め、物部川、国分川の源流域から高知平野に至る変化に富んだ市域を有しています。東北部は、四国の屋根を構成する四国山地に広く含まれ、概ね 1,000～1,800m の急峻な山並みが続いています。山岳部は秩父古生層からなり、石灰岩の露出や鍾乳洞等も見られます。また、市域を貫いて物部川が流れ、西南部で平野を形成しています。

気候は比較的温暖ですが、季節ごとの寒暖差、標高による気温差が大きく、高地では亜寒帯の植物もみられます。降水量は、特に山間部で多くなっており、森林資源の形成や農作物の育成に適した地域となっています。

さて、本市における土砂災害として、決して忘れてはならない災害が、昭和 47 年 7 月 5 日に土佐山田町繁藤・角茂谷（現香美市土佐山田町繁藤・角茂谷）で発生した「繁藤大災害」です。

当災害では、激しい豪雨により、追廻山が高さ 80m、幅 140～170m にわたって崩れ、土砂が 10 万 m<sup>3</sup> 流出、殉職・殉難者数は 60 名に上りました。毎年 7 月 5 日には、災害後に整備された繁藤災害哀悼の広場で「繁藤慰霊祭」が執り行われており、故人のご冥福をお祈りするとともに、災害から得られた教訓を市全体で再認識する場となっています。

このように大災害を経験した本市では、数年に一度、豪雨災害が起こっています。直近では、「平成 26 年 8 月豪雨」が記憶に新しいところです。当豪雨では、7 月 30 日から 8 月 21 日までの間に、台風 12 号、台風 11 号の影響を受けて、香美市土佐山田町繁藤で 2,000 mm を越える雨が降るなど、各地で多くの雨が降り、市内全域で床上浸水 2 件、床下浸水 13 件、その他、多くの道路被害等が発生しました。

本市では、この災害から得た教訓を基に、避難勧告等の発令基準をより精緻に定めた「避難勧告等の判断・伝達マニュアル」を作成するとともに、しっかりとした災害対策のあり方について、検討を重ね、より実働的な体制の整備を行い、「香美市地域防災計画」や「香美市業務継続計画」に反映しました。

こうした中、市民の方々の土砂災害等に対する関心も高まっており、平成 27 年度は、高知県土木部の協力を得て、市内 11 箇所土砂災害に備えるために自主防災組織等の主催による講座が開催されたり、地震災害時を想定した炊き出し訓練や救命救急講習等の防災訓練が実施されるなど、官民協働での取り組みが進んでいるところです。

今後につきましても、土砂災害等への対策として、防災行政無線及びヘリポート等の整備、ハザードマップの改訂など、「誰もが安心して暮らせるまち 香美市」の実現に向けて積極的に取り組んでまいりたいと考えております。